

若年者へのキャリア教育の充実について

【担当省庁】厚生労働省

若年技能者の人材確保・育成を支援する「若年技能者人材育成支援等事業」について、ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための事業が令和4年度に休止されたが、大規模集客型のイベントは、小中学生のものづくりに対する関心と意欲を高めるために有効な事業であり、早急に再開させること。

【現状・課題等】

- 若者のものづくり離れ、技能離れが見られる中、若者が自発的に技能者を目指す環境を整備する必要があり、技能者になりたい者の確保、若者への段階的な技能の付与による技能者育成を図るため、厚生労働省が平成25年度から「若年技能者人材育成支援等事業」を実施
- 「若年技能者人材育成支援等事業」については、京都府職業能力開発協会が受託し、実行委員会事業と国委託事業を併せて、「京都ものづくりフェア」を実施してきた。
- 令和元年度までは、例年2日間の会期で実施し、31,000人の方が来場されていたが、令和2、3年度はコロナ禍の影響でWEBや限定的な開催となった。
- 令和4年度は、コロナ克服を目指し、内容を充実した開催を見込んでいたが、国事業の見直しにより、開催規模を縮小せざるを得なくなった。会期は1日となり、さらに、経費負担の増額や開催日の減少から出展を見合わせる団体も多く、来場者は1,500人と大幅な減少となった。

京都府 の担当課	商工労働観光部 人材育成課 (075-414-5105)
-------------	------------------------------

【国の事業等】

■若年技能者人材育成支援等事業〔厚生労働省〕 22億円

- ▶ 技能尊重気運の醸成や若年技能者の人材確保・育成を支援

【京都府の取組】

■京都ものづくりフェア 3,240千円

- ▶ 大展示場においてもものづくり体験を実施するリアルパートと、webを活用した実演動画等の配信やZOOMによるものづくり体験等を実施するwebパートでのハイブリット方式で実施
- ▶ 過去、国委託事業費は、主に会場費やものづくり体験の材料費等に、京都府から「ものづくりフェア」実行委員会への負担金は、主に会場設営費や委託料等に充当していた。
- ▶ 今回の事業休止に伴い、小中学生のものづくりへの関心を高める機会が喪失し、若年者の技能離れやものづくりへの関心低下につながる恐れがある。

○令和4年度実績

- ・リアルパート：来場者数 1,500人
- ・webパート：約 15,000 ページビュー

※令和元年度実績 来場者数 31,000人(2日間、パルスプラザ大展示場等)